

2010年5月24日

## リチウムイオン二次電池用負極材の主原料・球形化黒鉛の製造合弁会社を中国で設立

三菱化学株式会社

三菱化学株式会社(本社:東京都港区、社長:小林 喜光、以下「三菱化学」)は、このたび、青島泰達天潤炭材料有限公司(本社:中華人民共和国山東省青島市、董事長:郭 華徳、以下「青島泰達」)および明和産業株式会社(本社:東京都千代田区、社長:河野 哲和、以下「明和産業」)と、リチウムイオン二次電池用負極材の主原料である球形化黒鉛の製造合弁会社を設立しました。

リチウムイオン二次電池の世界的な需要拡大に対応すべく、三菱化学は坂出事業所(所在地:香川県坂出市、事業所長:大西 武)において、2,000トン/年の負極材生産能力増強工事を実施中です(本年12月完工予定・増強後の生産能力5,000トン/年)。そのため、主原料の球形化黒鉛を安定的に調達することが重要な課題となっていました。

今般設立した合弁会社は、2,000 トン/年の球形化黒鉛の生産能力を持ち、将来的にはさらなる増強も可能です。生産された球形化黒鉛は三菱化学が優先的に購入し、負極材の原料とします。

この合弁会社に対して、三菱化学は自社の特許である球形化黒鉛の改質技術を供与するいっぽう、青島泰達は球形化黒鉛の量産技術を提供し、プラントの基本設計および運転に当たります。明和産業は物流・商流の整備に当たります。

合弁会社の概要は別紙のとおりです。

三菱化学はリチウムイオン二次電池の主要 4 部材(正極材・負極材・電解液・セパレータ)すべてを取り扱う世界唯一の企業として、お客様のニーズに合った最適な組合せを提案してゆくとともに、安定した品質と供給体制を整え、電池部材ビジネスのさらなる拡大に努めてまいります。

以上

本件に関するお問合せ先 三菱化学(株)広報室 電話:03-6414-3730
--

【合弁会社の概要】

- 会社名 青島菱達化成有限公司  
(QINGDAO LINGDA KASEI CO., LTD.)
- 董事長 城阪 欣幸 (キサカ ヨシユキ)  
(三菱化学 執行役員 機能化学本部 副本部長 兼 電池機材事業部長)
- 所在地 中華人民共和国山東省青島市平度市香店街道弁事処同輝一路9号
- 資本金 435 百万円
- 出資比率 三菱化学 49% : 青島泰達 37% : 明和産業 14%
- 事業内容 リチウムイオン二次電池負極材用の球形化黒鉛の製造・販売
- 生産能力 2,000トン/年
- 設立日 2010年5月7日
- 営業運転開始 2011年5月(予定)
- 従業員数 約70名

【青島泰達の概要】

- 会社名 青島泰達天潤炭材料有限公司  
(QINGDAO GR-TAIDA CARBON CO., LTD.)
- 董事長 郭 華徳
- 所在地 中華人民共和国山東省青島市平度市香店街道弁事処同輝一路7号
- 資本金 100 万 USドル
- 事業内容 各種黒鉛製品・炭素材料の製造・販売
- 設立日 2003年12月16日
- 従業員数 約80名
- 売上高 2009年 約60百萬元

以上